

あしべつ

社協だより

平成26年3月1日発行

第100号記念特集

社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター

TEL (0124) 22-2194 FAX (0124) 22-5466

E-MAIL ashi-sya@indigo.plala.or.jp (社会福祉協議会事務局)

kaigo-go@zpost.plala.or.jp (訪問介護ステーション)

社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。



芦別市社会福祉協議会役員・評議員 (任期:平成24年4月1日～平成26年3月31日)



事務局長 齋藤雅樹
副会長 吉野征幸
会長 岡部規子
副会長 竹原司
副会長 堀井武

【理事】(定数20名)

岡部 規子 大下 俊幸
 竹原 司 小竹 清孝
 吉野 征幸 稲場 厚一
 堀井 武 齋藤 雅樹
 半沢 満 池田 正樹
 坂田 憲正 武田 貞信
 山田 正行 稲光 藤男
 小林 廣勝 西道 清
 矢口 登義 澤田 律子
 横浜 博 高杉 律子

【監事】(定数2名)

中田 俊一 堀川 徹

【評議員】(定数45名)

合田 幸夫 工藤 智 菅 恒夫
 滝沢 好機 平柳隆太郎 大野 保夫
 請川 勝也 平井 宣行 鈴木 重盛
 中島 隆司 小山 涉 村本 久
 中川 隆弘 松葉 保行 小竹多美子
 大山 義広 小笠原一夫 川邊 弘美
 末岡 正嗣 青木 重良 田中 優一
 小川 弘 小田 稔 櫻井 祝
 永田 守男 坂下 明治 佐々木 久
 西 英昭 帷子 要蔵 伊藤 愛子
 山下 寛十 吉澤 文治 鈴木かほ里
 末永 照三 伊藤 正夫 高倉シミ子
 中村 一 三浦 定昭 松本 富雄
 奥原 茂 片山 勝二 富樫百合子
 永瀬 金蔵 吉住 英賢 (欠員1名)

芦別市社会福祉協議会の主な出来事

昭和26年

- 社会福祉事業法施行

昭和27年

- 芦別町社会福祉協議会設立

昭和28年

- 市制施行により、芦別市社会福祉協議会に名称を変更

昭和36年

- 心配ごと相談所開設

昭和37年

- 創立10周年記念式典挙行

昭和38年

- 芦別市愛情銀行(ボランティアセンターの前身)設置

昭和39年

- 欠尊家庭幼児童一日レクリエーションを開催(ポリオ児童、母子寮児童を対象)

昭和43年

- 社協だより創刊号発行

昭和44年

- 社協会費を1世帯10円とする。

昭和45年

- 社会福祉法人の認可を受ける。

昭和47年

- 芦別市結婚相談所開設

昭和50年

- 第1回芦別市社会福祉大会開催

昭和51年

- 創立20周年記念福祉大会開催

昭和52年

- 高齢者無料職業相談所開設

昭和50年

- 第1回芦別市金婚祝賀会開催

昭和51年

- 定款の一部変更(理事定数15名を20名に、評議員定数40名を50名に変更)

昭和52年

- 第1回老人福祉大運動会の開催



昭和54年

- 芦別市総合福祉センター落成

昭和55年

- 第1回芦別市老人文化展開催
- 第1回芦別市老人趣味娯楽会開催
- 第1回芦別市独居老人慰安会開催



昭和56年

- 創立30周年記念式典挙行

昭和57年

- 黄色いハンカチ(身体障害者に愛の手)運動の開始

昭和60年

- 地域福祉実践計画の策定(5ヶ年計画)

昭和62年

- 芦別市在宅福祉推進業務受託

昭和63年

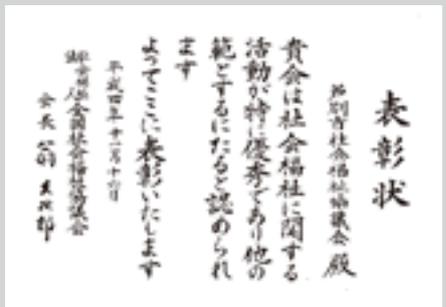
- 在宅福祉サービス事業モデル地区の指定
- 在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
- 芦別市総合福祉センター管理運営業務受託

平成3年

- 創立40周年記念式典挙行

平成4年

- 優良社会福祉協議会として全国社会福祉協議会長表彰を受賞



芦別市社会福祉協議会の主な出来事

平成 5年

- ・全町内会において「在宅福祉サービス事業」を実施

平成 6年

- ・芦別市ボランティアセンター設置
- ・第2期地域福祉実践計画策定（10ヶ年計画）
- ・給食サービス事業開始
- ・芦別市「星の降る里」ふれあい広場の開始



平成 8年

- ・芦別市総合福祉センター別館落成

平成 10年

- ・社協会員規程施行

平成 11年

- ・地域福祉権利擁護事業開始

平成 12年

- ・介護保険法施行
- ・訪問介護事業開始
- ・障害者送迎サービス事業開始
- ・手話通訳者派遣事業開始
- ・団体事務業務受託（芦別市老人クラブ連合会）
- ・国庫補助事業「ボランティアのまちづくり事業」の指定（3年指定）



平成 13年

- ・創立50周年記念式典挙行
- ・24時間テレビからリフト付福祉車両贈呈



平成 14年

- ・団体事務業務受託（以下8団体）
芦別市町内会連合会
芦別市民生委員児童委員協議会
芦別市戦没者顕彰奉賛会
芦別地区保護司会
芦別市衛生協力会連合会
芦別市身体障害者福祉協会
芦別市手をつなぐ育成会
芦別市遺族会
- ・離職者支援資金貸付事業開始（道社協より受託）
- ・生きがいデイサービスセンター開設



平成 15年

- ・第1回芦別市高齢者健康コンクール開催
- ・居宅介護事業開始（身体・知的・児童・精神）
- ・リングプル回収運動開始

平成 16年

- ・芦別市衛生協力会連合会解散

平成 18年

- ・介護予防訪問介護開始
- ・芦別市金婚祝賀会、ひとりぐらし高齢者交流会、低所得世帯海水浴事業の廃止

平成 19年

- ・ひとりぐらし高齢者支援事業開始

平成 20年

- ・芦別市戦没者顕彰奉賛会解散

平成 21年

- ・道営住宅ふれあい団地集会所でサロン活動を開始



- ・道社協「市町村活性化モデル事業（小地域福祉活動）」の指定（2年指定）

平成 22年

- ・チャイルドシート貸出事業開始

平成 23年

- ・地域福祉実践計画策定（5ヶ年計画）

- ・創立60周年記念社会福祉大会の開催

平成 26年

- ・社協だより 100号発行

芦別市社会福祉協議会の活動

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された公的な団体（社会福祉法人）で、地域福祉の推進を目的とした営利を目的としない民間組織です。

町内会や民生委員児童委員、福祉関係団体やボランティア団体などと連携して、地域福祉の推進に向けた活動をおこなっています。

☆高齢者福祉の推進

高齢者が健康で安心して暮らせるための支援をしています。

- ① 高齢者福祉大運動会の開催
- ② ひとりぐらし高齢者支援事業
- ③ 高齢者健康コンクールの実施
- ④ 高齢者相談事業



（高齢者福祉大運動会）

☆母子・児童福祉の推進

子育て中の人たちの仲間づくり、母子家庭等の支援をしています。

- ① 一日里親会事業（夏休みわんぱくツアーの開催）
- ② 子育てサロンの推進
- ③ 子育て支援事業の検討



（子育てサロン）

☆障がい者福祉の推進

障がい者への理解を広め、安心して社会参加ができる支援をしています。

- ① ふれあい広場の開催
- ② 障害者送迎サービス事業
- ③ 手話通訳者派遣事業
- ④ 障がい者団体への育成支援事業



（ふれあい広場）

☆地域福祉・在宅福祉事業の推進

誰もが安心して地域で暮らせるまちづくりを目指しています。

- ① 芦別市在宅福祉サービス事業
- ② 除排雪に関する各機関・団体との連絡調整
- ③ 給食サービス事業の実施
- ④ 心配ごと相談事業
- ⑤ ふれあいサロンの推進
- ⑥ 各種講座の開催（認知症・成年後見等）



（在宅福祉サービス事業推進懇談会）

☆ボランティアセンター運営事業の推進

福祉教育、ボランティア活動の情報提供を推進しています。

- ① ボランティアセンター活動推進事業
- ② 児童・生徒ボランティア活動普及事業
- ③ ボランティア育成講座の開催
- ④ 福祉教育・総合的な学習の時間への協力
- ⑤ 新規ボランティア団体の育成



（ボランティア育成講座）

☆居宅介護等事業の推進

- ① 「訪問介護ステーション」の経営
（介護保険法に基づくホームヘルパーの派遣事業）
- ② 障がい者（児）等の障害福祉サービス事業の経営
（障害者総合支援法に基づくホームヘルパーの派遣事業）
- ③ 「生きがいデイサービス」事業の運営
（生きがい活動支援通所事業）



（生きがいデイサービス事業）

☆その他の事業

各団体への助成、福祉関係7団体の事務、生活福祉資金の貸付等、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金活動協力事業などをおこなっています。



芦別市共同募金委員会

平成25年度 赤い羽根共同募金実績

(実施期間:平成25年10月1日~12月31日)

戸別募金
2,009,850円
大口募金
(個人大口・法人大口)
640,000円

平成25年度の募金総額

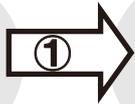
3,129,532円

※この募金は平成26年度に助成されます。

街頭募金
233,644円
特殊募金
246,038円

平成24年度の募金は下記の流れで助成されました。(平成25年度に助成)

平成24年度
芦別市の募金総額
3,259,111円



北海道共同募金会



道内の福祉事業
への助成(施設整備、
福祉車両等)
806,000円

芦別市へ(75.3%)

全道各地へ
(24.7%)

②

芦別市共同募金委員会

芦別市の福祉事業
への助成
2,103,111円

芦別市共同募金委員会
事務費
350,000円

③



【各事業への助成内訳】	母子・児童福祉事業へ 70,000円	福祉団体助成 140,000円
高齢者福祉事業へ 360,000円	ボランティア事業へ 528,111円	社協だより発行事業へ 520,000円
障がい者福祉事業へ 255,000円	学童・生徒のボランティア活動普及事業へ 230,000円	



芦別市共同募金委員会 平成25年度 歳末たすけあい募金実績

(実施期間:平成25年11月1日~12月31日)

戸別募金
1,155,066円
大口募金
(個人大口・法人大口)
578,000円

平成25年度の募金総額

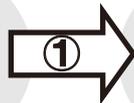
2,141,777円

※この募金は平成25年度及び
平成26年度に助成されます。

特殊募金
408,711円

平成24年度の募金は下記の流れで助成されました。
(平成24年度及び平成25年度に助成)

平成24年度
芦別市の募金総額
2,216,971円



北海道共同募金会



芦別市共同募金委員会
への配分
2,335,000円



芦別市社会福祉協議会
より芦別市の福祉事業
へ助成

【各事業への助成内訳】

社会福祉協議会で行う福祉事業の助成として(平成25年度に助成)	300,000円
市内の低所得世帯等への見舞金として(平成24年度に助成)	1,320,000円
ひとりぐらし高齢者支援事業への助成として(平成25年度に助成)	360,000円
福祉施設・福祉団体への助成として(平成25年度に助成)	355,000円



赤い羽根・歳末たすけあい募金 助成団体の活動の一コマ



子育てサロンクリスマス会



芦別市身体障害者福祉協会
一日研修大会



声のボランティアかりんとう
朗読の集い



福祉のひろば



体験で学んだ支えあう大切さ 〜芦別小6年生総合学習〜

12月3日、芦別小学校6年生の総合的な学習の時間において児童80名が福祉について学び、「車椅子体験」、「視覚障がい者歩行体験」を行いました。

車椅子の基本操作や視覚障がい者の手引き歩行の方法を学んだ後、実際に校内を車椅子やアイマスクを使用し移動しました。

日常生活で何気なく利用している空間でも、不便な箇所がいくつもある事を知り、他者の助けがあれば不便なことも克服できることを確認し、支えあうことの重要性を学ぶ時間となりました。



1月21日には12月に引き続き芦別小学校6年生が芦別市総合福祉センターを訪れ、「認知症」と「ボランティア」について学びました。地域包括支援センターの職員が講師となり、認知症サポーター養成講座を受講した後、社会福祉協議会職員が講師となりボランティアについて学びました。社会福祉協議会は児童生徒の福祉教育に協力しております。

将来の夢に向かって福祉を学ぶ 〜ボランティアスクール〜

1月8日〜9日、冬休み期間中の2日間、ボランティアスクールが開催され7名の中高生が参加しました。

2日間の日程では社協職員よりボランティアを行う際の心得である「ボランティアの10か条」を学び、子育て疑似体験、認知症サポーター養成講座、車椅子体験、芦別慈恵園での利用者との交流を行いました。緊張していた参加者も、様々な体験を通して多くの人から温かい声を掛けられ、笑顔あふれる場面もありました。将来の夢に向かって、真剣に講師の話をお聞き熱心に学ぶ姿が見られました。



「男性の料理教室」開催します!

料理をする機会の少ない男性が手軽に出来る調理法を学び、食への関心を高めることを目的として開催します。

◆と き 3月17日(月)午後6時〜午後8時
◆と ころ 芦別市総合福祉センター 調理実習室
◆講 師 芦別地区栄養士会
吉田 芳真子氏 大高 和枝氏

◆内 容 栄養バランスの良い簡単料理

◆対 象 者 男性

◆定 員 12名

◆参加料 500円
Eプロン、三角きん

◆申込締切 3月10日(月)

◆参加申込 芦別市社会福祉協議会 事業係

☎22-2194



昨年の様子



昨年の調理品

編集後記

今号より社協だよりの仕様で大きく変更されたところがあります。皆さんはお気づきでしょうか?

第100号の今号より右綴じを左綴じへ変更しました。通常であれば、縦書きなら右綴じ、横書きなら左綴じとなりますが、縦横それぞれの記事が掲載される本誌、またファイルに綴る事を考慮すると左綴じが便利である事から今号の変更に至りました。

社会福祉協議会はこれからも社協だよりのを通じて皆さんに事業や福祉活動の情報を発信し続けます。(K)